



デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー '16 / 第 22 回 AMD アワード 年間コンテンツ賞「優秀賞」の授賞作品 12 作品が決定

～ 「大賞 / 総務大臣賞」は「優秀賞」の中から選考し、3 月 13 日(月)の授賞式で発表 ～

一般社団法人デジタルメディア協会(所在地:東京都品川区、以下 AMD)は、優秀なデジタルコンテンツ等の制作者を表彰する『デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー '16 / 第 22 回 AMD アワード』において、年間コンテンツ賞「優秀賞」の授賞作品 12 作品(コンテンツ及びサービス)、「功労賞」、「リージョナル賞」、今年特別賞として設けた「審査員特別賞」の授賞者及び授賞作品が決定しました。

なお、3 月 13 日に発表される「大賞 / 総務大臣賞」及び「AMD 理事長賞」は、「優秀賞」の 12 作品の中から選考されます。

< 作品名 50 音順 >

	作品名	制作・関連会社等
1	ガリガリ君 TVCM「値上げ」	赤城乳業株式会社、株式会社電通東日本、株式会社電通関西支社、株式会社春企画東京、有限会社ガリガリ君プロダクション
2	君の名は。	「君の名は。」制作委員会
3	この世界の片隅に	「この世界の片隅に」制作委員会
4	シン・ゴジラ	東宝株式会社
5	超歌舞伎 今昔饗宴千本桜 (はなくらべせんぼんざくら)	松竹株式会社、株式会社ドワンゴ、日本電信電話株式会社
6	TBS テレビ火曜ドラマ 「逃げるは恥だが役に立つ」	株式会社 TBS テレビ
7	PlayStation®VR	ソニー・インタラクティブエンタテインメント
8	BABYMETAL	株式会社アミューズ
9	PPAP (ペンパイナッポーアッポーペン)	エイバックス・ミュージック・クリエイティヴ株式会社
10	Pokémon GO	ナイアンティック社、株式会社ポケモン
11	ユーリ!!! on ICE	ユーリ!!! on ICE 制作委員会
12	リオ 2016 オリンピック閉会式 東京 2020 フラッグハンドオーバーセレモニー	東京都、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、株式会社電通、FHO 制作チーム

本年の年間コンテンツ賞「優秀賞」は、平成 28 年 1 月 1 日より 12 月 31 日の間に発売・発表された、最新のデジタル技術を駆使して制作された国内のデジタルコンテンツ及びサービスの中から選出されました。

また授賞作品の審査は、審査会《審査員長:夏野剛(慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特別招聘教授)》にて審議し決定しています。

■『デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー '16 / 第 22 回 AMD アワード』授賞式

日時 : 平成 29 年 3 月 13 日(月曜日)16:30(開場 16:00)

会場 : 明治記念館 2F「富士の間」(東京都港区元赤坂)

※過去の AMD アワードにつきましては、下記 AMD ホームページをご参照下さい。

※本件に関する授賞理由や概要は別紙の資料をご覧下さい。

< 報道からのお問い合わせ先 >

AMD アワード実行委員会事務局(一般社団法人デジタルメディア協会事務局内)

〒141-0022 東京都品川区東五反田 1-9-4 五反田宏陽ビル 2F

担当者:城 TEL 03-5798-7101 FAX 03-6277-3116

E-mail: jo.rumiko@amd.or.jp URL:http://www.amd.or.jp/



デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー'16/第22回 AMD アワード
授賞作品一覧および授賞理由

■年間コンテンツ賞「優秀賞」AMD Award

<作品名 50 音順>

	作品名	制作・関連会社等
1	ガリガリ君 TVCM「値上げ」	赤城乳業株式会社、株式会社電通東日本、株式会社電通関西支社、株式会社春企画東京、有限会社ガリガリ君プロダクション
	25年ぶりに人気アイス「ガリガリ君」を10円値上げすることに決めた赤城乳業。そのことについて、社長をはじめ100名ほどの社員がCMでお詫びをした。わずか3回のオンエアで拡散施策も行なっていないが、同社公式チャンネルではすぐに150万回再生。日本のアイスのCMが海外でも話題になり、値上げはマイナスになることなく受け入れられ、売上増にもつながった。	
2	君の名は。	「君の名は。」製作委員会
	新海誠監督による長篇アニメ作品で、東京の少年と地方の少女の、夢の中での「入れ替わり」から始まる青春ストーリー。8月に公開され、6週間で1000万人を動員。アジア各国でも記録的大ヒットとなり、今年4月には北米での公開も決定。まさに世界を席卷するジャパン・コンテンツの代表作である。	
3	この世界の片隅に	「この世界の片隅に」製作委員会
	町並みから空襲の様子まで再現した取材力、ほのぼのとした空気を作りだした演出力、主張を押し付けないからこそ感じさせるメッセージ性、どれも見た人の心にしみるものとなった。一方でクラウドファンディングの導入やSNSでの感動の広がり新時代を象徴していた。大ヒットとなった実績とともに、その熱意とアイデアを高く評価。	
4	シン・ゴジラ	東宝株式会社
	7月29日に公開されるやいなやSNS等の口コミによって大ブームを巻き起こした2016年邦画実写第1位作品。年を跨いで上映は続けられており、興行収入は82億円を越える。映画的なデフォルメは活かしつつお約束を廃し、大人をうならせるリアリティを構築。テーマからブレなかった妥協なき作品性およびチャレンジ精神を称える。	
5	超歌舞伎 今昔饗宴千本桜 (はなくらべせんぼんざくら)	松竹株式会社、株式会社ダウンゴ、 日本電信電話株式会社
	「ニコニコ超会議2016」で上演された「今昔饗宴千本桜(はなくらべせんぼんざくら)」。最新テクノロジーと伝統芸能が融合した舞台は、超満員の観客を集め、ニコニコ生放送視聴者累計16万人を超えて魅了した。新作歌舞伎のネット生放送は史上初であり、今後の演劇、エンターテインメントの新たな可能性を感じさせる革新性を評価。	
6	TBS テレビ火曜ドラマ 「逃げるは恥だが役に立つ」	株式会社TBSテレビ
	見る者をムズキュンさせるドラマが、ダンスとともに大ヒットになった。出演者のダンスと予告編が一体となった動画は総再生回数8800万回に達し、無料の見逃し配信は歴代最高の2000万回、最終回の総合視聴率は33.1%となった。「恋ダンス」を踊る映像がインターネットにあふれ、テレビとネットの良好な関係を示唆した。その発想力と演出力を称える。	
7	PlayStation®VR	ソニー・インタラクティブエンタテインメント
	2016年10月13日に発売された「プレイステーション」プラットフォーム初のバーチャルリアリティ(VR)システム。VRヘッドセットを被ると、360度全方向を取り囲む迫力ある3D空間が出現。独自の3Dオーディオ技術との連動によって生まれる圧倒的な臨場感により、仮想世界の中に入りこんだかのような、新次元ゲーム体験を実現させた優れた技術開発力を称える。	
8	BABYMETAL	株式会社アミューズ
	日本の音楽シーンの既成の枠を飛び出し、海外での活動を積極的に展開している。2016年にはアルバム「METAL RESISTANCE」が英米チャートにランクインし、日本人アーティストの記録を次々と更新した。英国WEMBLEY ARENAをはじめ世界各地で単独ライブを開催するなど、エンターテインメントビジネスの“輸出”という点で大成功を収めた点を高く評価。	

9	PPAP (ペンパイナッポーアッポーペン)	エイベックス・ミュージック・クリエイティブ株式会社
	古坂大魔王一押しのかぼ太郎が歌う「PPAP(ペンパイナッポーアッポーペン)」(PPAP)は、昨年 8 月に YouTube で公開されると、世界的な社会現象となり、現在1億再生を突破。さらに関連動画は10億回を突破した。10月28日には、全米ビルボードの「トップ100」に入った最短曲としてギネス世界記録に認定された。世界中で大ヒットを記録した独創的なアイデア、演出、拡散手法を評価。	
10	Pokémon GO	ナイアンティック社、株式会社ポケモン
	世界中で大ブレイクした位置情報ゲーム。シンプルなゲーム性にポケモン収集、対戦という要素が相まって、老若男女楽しめる内容に。課金せずに遊べることも人気を後押しした。社会現象にまで発展した一方で、歩きスマホや運転中のゲームプレイが問題となり、スマホ利用のルールについて議論するきっかけにもなっている。	
11	ユーリ!!! on ICE	ユーリ!!! on ICE 製作委員会
	フィギュアスケートをテーマとしたテレビアニメシリーズで、実際のグランプリシリーズと同期するストーリーで大人気となった。アニメ用にオリジナル曲を制作し、それに合わせて宮本氏が振り付けを行った。チャコットが衣装をデザイン、アナウンサーやフィギュアスケーターが本人として出演する「本物指向」が熱狂的支持を得た。	
12	リオ 2016 オリンピック閉会式 東京 2020 フラッグハンドオーバーセレモニー	東京都、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック 競技大会組織委員会、株式会社電通、FHO 制作チーム
	いまの東京をどのように表現し、次なる東京五輪への期待を高めることができるかという大きな課題に、日本のクリエイティブ界を代表する人たちが集結。それぞれの専門領域での知見やアイデア、技術を惜しみなく発揮し、総力戦で“日本の広告”とも言える見事なプレゼンテーションを実現した。	

■審査員特別賞 Jury's Special Award

授賞者
MIKIKO
Perfume、BABYMETAL の振付・ライブ演出をはじめ国内外で評価が高く、2016 年、リオ・オリンピック、パラリンピック閉会式の引継ぎ式における総合演出と演舞振付、星野源「恋」の振付“恋ダンス”が大きな話題に。特にリオ五輪では「TOKYO」を見事に表現したパフォーマンスで世界中から注目を集め、東京五輪に対する期待を高めた。

■功労賞 Lifetime Achievement Award

授賞者
シブサワ・コウ
株式会社コーエーテクモホールディングス代表取締役社長 襟川陽一は、ゲームプロデューサー、シブサワ・コウとして、パソコンゲーム黎明期、『信長の野望』、『三国志』等の歴史シミュレーションゲームを開発。日米の学会でマネジメントゲームとしての効果が認められ、様々な大学の授業でも取り上げられた。独自の新ジャンルを創発し、ゲームソフト市場の発展に寄与。2016 年には、大河ドラマ『真田丸』に 3D マップ監修として参加。その 35 年にわたる功績をここに讃える。

■リージョナル賞 Regional Achievement Award

作品名	制作・関連会社等
ゆけ、シンフロ部！	株式会社西広
「シンフロ」の続編で、女子高生によるシンフロ部の活動と、「シンフロプロジェクトマッピング」、そして「おんせん県はお湯を沸かして待ってるよ」というメッセージで、テレビ CM だけではなく、ネット上での拡散により、地域の活性化に大いに貢献した。	

～一般社団法人デジタルメディア協会～

【活動概要】

約 60 社の会員により、コンテンツ分野で活躍するプレーヤーの支援、コンテンツ分野におけるビジネス環境の整備、新たな配信メディアの開拓等、コンテンツビジネスの発展に向けた多様な取組を進めています。AMD は、政府のIT戦略本部や知的財産戦略本部の取組とも歩調を合わせ、より多くの事業者や関係者と共に、一層のデジタルメディア・コンテンツ産業の振興に向けて活動を拡大してまいります。

～デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー'16／
第 22 回 AMD アワード開催概要～

- 名 称: デジタル・コンテンツ・オブ・ジ・イヤー'16／第 22 回 AMD アワード
- 主 催: 一般社団法人デジタルメディア協会(略称/AMD)
- 後 援: 総務省
- 協 賛: 株式会社NTTぷらら、カドカワ株式会社、株式会社コーエーテクモホールディングス、株式会社スクウェア・エニックス、ソニー・インタラクティブエンタテインメント、株式会社東北新社、任天堂株式会社、株式会社バンダイナムコホールディングス
- 推薦期間: <年間コンテンツ賞> 平成 28 年 12 月 8 日(木)～平成 29 年 1 月 13 日(金)
- 授 賞 式: 日 時/平成 29 年 3 月 13 日(月) 16:30～
会 場/明治記念館「富士の間」
- 趣 旨: コンテンツ制作者の立場からデジタルコンテンツ産業の発展のために、デジタルメディアの質的向上ならびに人材育成を目的として、「AMD アワード」を制定致しております。
- 対象作品: <年間コンテンツ賞>
対象期間:平成 28 年 1 月 1 日より 12 月 31 日
 - ① 対象期間中に、日本国内において発売・発表されたデジタルメディアにて表現されたコンテンツ及びサービス(期間内に国内において普及・注目されたものを含む)
 - ② 対象期間中に、最新のデジタル技術を駆使して国内で制作されたコンテンツ及びサービス(海外展開含む)
- 審査方法: 「年間コンテンツ賞」については、実行委員会の指名する第 22 回 AMD アワードサポーターおよび一般推薦者により、AMD ホームページから推薦された作品を別に組織する審査会《審査員長:夏野 剛(慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特別招聘教授)》にて審議し、各賞を決定しています。
- 賞の内容: <年間コンテンツ賞>
 - 1) 大賞/総務大臣賞(該当 1 作品の制作者)
 - ◆Digital Contents of The Year'16 The AMD Grand Prize ～総務大臣賞～
 - 2) AMD 理事長賞(該当 1 作品の制作者)
 - 3) 優秀賞(該当約 12 作品の制作者)
 - ※1)、2)は、「優秀賞」授賞作品の中から選出されます。
 - ※1)、2)は、授賞式当日の発表となります。
 - 4) 功労賞
業界への長年の献身・功績のあった人物に対し与えられます。
 - 5) リーショナル賞(該当 1 作品の企画団体)
地域に根ざしたデジタルコンテンツやサービスの中で、最も優れた功績を挙げた人物・団体に授与されます。
 - 6) 審査員特別賞
業界の枠を越えてデジタルコンテンツの発展に寄与したと認められる人物に対し、審査員の合意や推薦で決定するものです。